

# 終末期における治療の差し控えや 中止とその倫理的問題

## — よい死を迎えるために —

本公開講座は 一般市民の皆様と日頃臨床の場で悩みを抱える医療者の皆様とが 終末期医療における治療の差し控えと中止における問題を考える会です いっしょにより死の迎え方を考えませんか？

**2015年1月24日(土) 13:30-16:30**  
**フクラシア浜松町(入場無料)**

〒105-0013 東京都港区浜松町1-22-5  
浜松町センタービル6階 (旧住友生命浜松町ビル)

※ 会場のエレベーターが狭いので  
時間に余裕をもってご来場ください

**荒川迪生 (荒川医院副院長・医師)**

「医学的観点から見た終末期医療における治療・延命措置の  
差し控えや中止における問題・課題と患者の意思決定」

**小迫富美恵 (横浜市民病院・がん看護専門看護師)**

「終末期の治療の差し控えや中止に関する患者・家族  
の意思、看護師の苦悩」

**山口育子 (NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)**

「患者・家族からの電話相談を通して見えてくる終末期  
における治療の差し控えや中止の問題点」

**板井孝彦郎(宮崎大学教授 哲学・倫理学)**

「倫理コンサルテーションの観点から見た終末期の治療  
の差し控えや中止に関する問題」

**司会:勝山貴美子(横浜市立大学教授)**

**村松聡(早稲田大学教授 特定発言者)**

- ・ JR[浜松町]駅から徒歩1分1・都営大江戸線[大門]駅から徒歩2分
- ・ 東京モノレール[浜松町]駅から徒歩2分



公開講座事務局:横浜市立大学(勝山研究室)

045-787-2750(ダイヤルイン)

045-787-2511(代表)内線 4750

[katuyama@yokohama-cu.ac.jp](mailto:katuyama@yokohama-cu.ac.jp)

\*本公開講座は平成26年度 科学研究費助成事業  
(科学研究費補助金)の助成をうけて行われます